

講座名

福祉教育のゲスト講師に聞く

概要

普段主に学校で福祉教育のゲスト講師として活動していただいている障がいのある方の話を聞き、交流していただきます。地域の一員として生活する講師の方の話から、誰もが生活しやすい地域づくりや災害時の対応などについて考えます。体験やワークショップによる話し合いなど、講義の後の展開は自由です。市社協が学校で行っている福祉教育の授業のような形で進めることも可能です。詳細は市社協担当にご相談ください。

ただし、ゲスト講師のほとんどはお勤めをされていますので、実施予定日の 1 ヶ月以上前に申し込みをしていただくようお願いいたします。また時期によっては、ご要望にお応えできないこともありますので、あらかじめご了承ください。

所要時間 1 時間～

準備物 机、椅子、マイク、スクリーン、プロジェクター、パソコン、他

※ゲスト講師への謝礼、タクシー代（必要に応じて）

※講師によっては、エレベーターのない 2 階以上の会場設定は避けてください。

体験を行う場合、体験用のグッズが必要な場合があります。

	項目	時間（程度）	内容
1	講義	20～30 分	ゲスト講師から、普段の生活のこと、地域に対する思いなど自由に語っていただきます。 ・車椅子を利用して生活している方 ・視覚に障がいをお持ちの方 ・盲導犬と生活をしている方 ・障がい者スポーツを行っている方 など ※聴覚障がいの方の講話・手話講座については、申込み先が福井県聴覚障がい者協会（0776-63-5572）になり、市社協では調整できませんのでご了承ください。 講師・手話通訳者の申込書も別になります。ＨＰ（ http://fukui-deaf.jp/ ）からダウンロード。
2	質疑応答	10～15 分	ゲスト講師と参加者とのフリートーク。
	ここから後は、組み立て自由。例えば・・・		
3	例 1 体験	20～30 分	車いすの介助方法や、アイマスク体験、誘導（ガイドヘルプ）体験、点字、見えにくさ体験

4	例2 演習	20～30分	ゲスト講師の話から、地域のバリアフリーの現状や課題、災害時の対応についてグループで考えます。
5	例3 講義	20～30分	市社協職員がご要望のテーマでお話しします。 「福祉教育と福祉体験活動の実際」や、「福祉って何?」「ボランティアって?」など。
6	例4 体験		参加者でチームを組み、障がい者スポーツ体験を行います。（場所や道具など条件有）



↑ 中央 地域福祉活動発表会での酒井正輝氏（電動車椅子利用者）